

耕畜連携による稲WCSほ場への堆肥散布が始まりました！

～2年目の堆肥散布は面積拡大しています！～

安房農業事務所改良普及課 令和6年12月23日発

耕畜連携による稲WCSほ場への堆肥散布は、地域内での資源循環、地力向上が期待されます。鴨川市和泉地区では、水稻農家と畜産農家が協議を重ね、この取組が昨年初めて行われました。昨年の散布ほ場の土壌分析結果から、堆肥を入れたほ場は土壌成分値が向上していることがわかり、水稻農家と畜産農家が共に今後の堆肥散布を行うことに前向きになり、令和6年は散布面積を拡大することになりました。

当初、秋の散布を予定していましたが、晴天が続かず、好天となった12月17日に堆肥散布が開始されました。散布面積は約2.4haと昨年の2倍以上となりました。

安房農業事務所では、ほ場の土壌成分と令和7年作付けの稲WCSの収量を調査し、水稻農家と畜産農家にデータを示すことで、農家がより良い耕畜連携の在り方を検討していけるよう引き続き支援していきます。



大区画水田での堆肥散布



手前が堆肥散布後のほ場